



平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月10日

上場会社名 株式会社 竹内製作所
コード番号 6432 URL <http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 明雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 小林 修

TEL 0268-81-1200

四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	59,832	14.3	9,187	11.1	9,338	11.7	6,927	19.7
30年2月期第2四半期	52,336	12.2	8,269	15.3	8,361	0.1	5,788	6.0

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 6,310百万円 (21.7%) 30年2月期第2四半期 5,186百万円 (50.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	145.26	
30年2月期第2四半期	121.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	103,440	72,710	70.3
30年2月期	91,799	68,106	74.2

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 72,710百万円 30年2月期 68,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		36.00	36.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	12.4	13,800	2.4	13,800	1.7	10,100	5.8	211.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	48,999,000 株	30年2月期	48,999,000 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	1,301,198 株	30年2月期	1,309,568 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	47,693,147 株	30年2月期2Q	47,688,548 株

(注) 期末自己株式数には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式(平成30年2月期 55,710株 平成31年2月期2Q 47,340株)を自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法

当社は、平成30年10月18日に機関投資家及び証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。なお、当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第2四半期連結累計期間の経済は、以下のとおりです。米国ではトランプ政権の通商政策が保護主義の色彩を強め、関税強化措置が米国経済にもたらす悪影響が懸念されるものの、足元では良好な雇用情勢、消費マインドを背景に個人消費は堅調に推移し、企業の設備投資も増勢が継続しました。欧州では、EUと米国が通商合意に達し、不確実性の高まりはひとまず回避されました。また、足元では雇用改善が追い風となり個人消費が復調し、設備投資も建設分野で増加するなど、景気は堅調さを維持しました。英国では、個人消費は持ち直したものの、EU離脱交渉の最大の山場を迎え、設備投資は軟化しており、先行きに対する不透明感が晴れない状況がしばらく続くと思われまます。

このような環境の中、当社グループの製品需要は米国及び欧州ともに高い水準を維持しており、平成30年1月にはクローラーローダーの新製品を、平成30年3月にはミニショベルの新製品を市場投入し、積極的な販売活動を展開した結果、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの当第2四半期連結累計期間の販売台数は、前年同期に比べいずれも増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は598億3千2百万円（前年同期比14.3%増）となりました。利益面につきましては、原材料価格の上昇及び販売台数の増加に伴う運送費の増加等があったものの、増収効果で吸収し、営業利益は91億8千7百万円（同11.1%増）となり、経常利益は93億3千8百万円（同11.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を26億8百万円計上したため、69億2千7百万円（同19.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

日本では、平成30年3月にミニショベルの新製品を市場投入したこともあり、欧州向けミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したこと等により、売上高は204億4千8百万円（前年同期比12.6%増）となり、セグメント利益は61億9千2百万円（同8.5%増）となりました。

② 米国

米国では、平成30年1月にクローラーローダーの新製品を市場投入したこともあり、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの販売台数が増加したこと等により、売上高は283億1千1百万円（前年同期比9.3%増）となり、セグメント利益は15億3千8百万円（同77.8%増）となりました。

③ 英国

英国では、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したこと等により、売上高は72億9千8百万円（前年同期比31.0%増）となり、セグメント利益は4億2千7百万円（同45.7%増）となりました。

④ フランス

フランスでは、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したこと等により、売上高は34億5千2百万円（前年同期比32.3%増）となりましたが、セグメント利益は日本からの製品仕入価格の値上げの影響及び販売促進費の増加等により、1億4千2百万円（同30.8%減）となりました。

⑤ 中国

中国では、ミニショベル及び油圧ショベルの販売台数が増加したこと等により、売上高は3億2千1百万円（前年同期比260.0%増）となり、セグメント利益は日本への部品の供給が増加したこと及び貸倒引当金の戻入があったこと等により、2億6千3百万円（同15.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ116億4千万円増加し、1,034億4千万円となりました。これは主に、現金及び預金が14億7千2百万円増加し、売上高の増加により受取手形及び売掛金が93億1千4百万円増加し、たな卸資産が8億3千3百万円増加したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ70億3千7百万円増加し、307億3千万円となりました。これは主に、生産台数の増加により支払手形及び買掛金が60億8千万円増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ46億3百万円増加し、727億1千万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が69億2千7百万円増加しましたが、配当金の支払により17億1千8百万円減少し、為替換算調整勘定が5億7千7百万円減少したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ14億6千万円増加し、318億7千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間(平成30年3月1日から平成30年8月31日まで)における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は42億2千4百万円(前年同期比17億9千2百万円減少)となりました。

これは主に、売上債権の増加額96億9百万円及びたな卸資産の増加額15億3百万円等の支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益95億3千6百万円及び仕入債務の増加額67億3千万円等の収入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は8億3千2百万円(前年同期比1億7千2百万円増加)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出8億4千9百万円及び投資有価証券の取得による支出3億1百万円等がありましたが、攪拌機事業の譲渡による収入3億8千6百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は17億1千万円(前年同期比4億6千3百万円増加)となりました。

これは主に、配当金の支払額17億1千万円等の支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年4月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は、本日(平成30年10月10日)公表いたしました「平成31年2月期 通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本業績予想における第3四半期以降の為替レートは、1米ドル=109円、1英ポンド=142円、1ユーロ=127円、1人民元=15.8円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,990	32,462
受取手形及び売掛金	22,452	31,767
商品及び製品	19,358	19,747
仕掛品	1,522	1,304
原材料及び貯蔵品	3,017	3,680
繰延税金資産	2,098	1,850
その他	2,674	2,428
貸倒引当金	△1,500	△1,299
流動資産合計	80,614	91,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,330	5,121
機械装置及び運搬具（純額）	1,268	1,278
土地	2,104	2,043
その他（純額）	454	871
有形固定資産合計	9,158	9,315
無形固定資産	713	619
投資その他の資産		
その他	1,334	1,585
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	1,313	1,563
固定資産合計	11,185	11,498
資産合計	91,799	103,440

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,572	23,652
未払法人税等	1,966	2,175
賞与引当金	214	264
製品保証引当金	1,178	1,487
その他	1,608	2,136
流動負債合計	22,540	29,716
固定負債		
役員株式給付引当金	30	24
債務保証損失引当金	22	17
退職給付に係る負債	41	39
その他	1,058	932
固定負債合計	1,152	1,013
負債合計	23,692	30,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,632	3,632
資本剰余金	3,631	3,631
利益剰余金	61,633	66,842
自己株式	△1,976	△1,965
株主資本合計	66,921	72,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	7
為替換算調整勘定	1,053	476
退職給付に係る調整累計額	109	84
その他の包括利益累計額合計	1,185	568
純資産合計	68,106	72,710
負債純資産合計	91,799	103,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	52,336	59,832
売上原価	40,263	46,206
売上総利益	12,073	13,626
販売費及び一般管理費		
運搬費	1,182	1,635
製品保証引当金繰入額	460	687
貸倒引当金繰入額	△130	△147
債務保証損失引当金繰入額	△37	△4
役員報酬	115	100
給料及び手当	767	765
賞与引当金繰入額	68	80
退職給付費用	6	11
役員株式給付引当金繰入額	7	5
その他	1,363	1,303
販売費及び一般管理費合計	3,803	4,438
営業利益	8,269	9,187
営業外収益		
受取利息	13	27
受取配当金	1	1
為替差益	-	79
デリバティブ評価益	82	-
その他	48	62
営業外収益合計	146	170
営業外費用		
固定資産除却損	29	7
為替差損	22	-
デリバティブ評価損	-	11
その他	2	0
営業外費用合計	53	19
経常利益	8,361	9,338
特別利益		
事業譲渡益	-	198
特別利益合計	-	198
税金等調整前四半期純利益	8,361	9,536
法人税、住民税及び事業税	2,075	2,400
法人税等調整額	497	208
法人税等合計	2,572	2,608
四半期純利益	5,788	6,927
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,788	6,927

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)
四半期純利益	5,788	6,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△14
為替換算調整勘定	△562	△577
退職給付に係る調整額	△38	△25
その他の包括利益合計	△602	△617
四半期包括利益	5,186	6,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,186	6,310
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,361	9,536
減価償却費	604	598
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△144	△147
賞与引当金の増減額 (△は減少)	54	75
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△22	325
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△76	△40
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	6	2
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△37	△4
受取利息及び受取配当金	△15	△28
支払利息	1	0
為替差損益 (△は益)	851	△138
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
固定資産除却損	29	7
事業譲渡損益 (△は益)	-	△198
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,929	△9,609
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,562	△1,503
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,469	6,730
その他の資産の増減額 (△は増加)	△87	198
その他の負債の増減額 (△は減少)	△198	563
その他	△11	28
小計	7,418	6,395
利息及び配当金の受取額	15	28
利息の支払額	△1	0
法人税等の支払額	△1,413	△2,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,017	4,224
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△5	△11
有価証券の取得による支出	△300	-
有価証券の償還による収入	300	-
有形固定資産の取得による支出	△281	△849
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△75	△60
無形固定資産の売却による収入	-	1
投資有価証券の取得による支出	△300	△301
貸付金の回収による収入	0	0
事業譲渡による収入	-	386
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△660	△832
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の売却による収入	0	3
配当金の支払額	△1,240	△1,710
リース債務の返済による支出	△7	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,247	△1,710
現金及び現金同等物に係る換算差額	△940	△220
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,169	1,460
現金及び現金同等物の期首残高	23,633	30,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,802	31,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への 売上高	18,152	25,912	5,571	2,610	89	52,336	—	52,336
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	22,704	—	26	2	731	23,464	△23,464	—
計	40,856	25,912	5,598	2,612	820	75,800	△23,464	52,336
セグメント 利益	5,709	865	293	205	229	7,302	966	8,269

(注) 1. セグメント利益の調整額966百万円には、セグメント間取引消去1,554百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△587百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	英国	フランス	中国			
売上高								
外部顧客への 売上高	20,448	28,311	7,298	3,452	321	59,832	—	59,832
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	31,077	0	20	7	1,329	32,435	△32,435	—
計	51,525	28,312	7,319	3,459	1,651	92,267	△32,435	59,832
セグメント 利益	6,192	1,538	427	142	263	8,564	622	9,187

(注) 1. セグメント利益の調整額622百万円には、セグメント間取引消去1,247百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△625百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。